



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「言葉より行動を」 “Talk Less, Do More”
スローガン	「今すぐやろう！」 “Do it Now”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
スローガン	「ひとつのアジア、世界はひとつ」 “One Asia, One World”
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」 “To walk together, echoing each other”
スローガン	「こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく」
中部部長主題	「“将来を見つめたワイズ活動！”を今やってみよう！」
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたライフを！」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club !”
会長：澤瀬 諭，副会長・会計：川村孝治，書記・直前会長：北 肇夫	

今月の聖句：主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。

フィリピの信徒への手紙 4章4節-5節

2014年7月強調月間

Kick-off, EMC-C

M は Membership。手を挙げワイズソングを歌えば先輩、後輩関係なく、常に声を掛け合い親睦を図り、より良い関係を築きましょう。C は Conservation。素晴らしいクラブ作りに向けて、皆さんのワイズ力で未来予想図を描きましょう。

河原 正弘 EMC 事業主任 (京都トップスクラブ)

☆☆☆7月第一例会案内☆☆☆

日時：7月10日(木) 19:00~21:00
会場：金沢白鳥路ホテル(金沢市丸の内6-3)
会費：3000円(夕食代を含む)
準備：北君

プログラム

司会：川村君
開会・点鐘：澤瀬会長
ワイズソング：一同
今月の聖句：司会者
ゲスト紹介：司会者
今月のハッピーバースデー：澤瀬会長
川村君(25日)、澤瀬君(29日)
食前の感謝：竹中君
— 会食 —
卓話：北君「地域奉仕・環境事業について」
議題：前年度の評価と今年度の計画
事業委員報告：各委員
ニコニコタイム：川村君
閉会・点鐘：澤瀬会長

*例会に使用済み切手をご持参ください。

☆☆☆6月例会報告☆☆☆

[第一例会] 6月12日(木) 19:00~21:00、金沢白鳥路ホテル、卓話「地中海クルージング体験記—イタリアのサビオネッタ港〜カリア諸島—」(平口君)、参加者：川村君・北君・澤瀬君・竹中君・平口君・三谷君
[第二例会] 6月26日(木) 19:00~21:15、竹中チャペル(竹中歯科医院3F、小立野1-6-18)、参加者：北君・澤瀬君・竹中君・平口君・三谷君。

金沢クラブ・金沢犀川クラブ合同(中部部長公式訪問)特別例会 7月17日(木) 18:30~20:30、その前後に中部キャビネット引継ぎ式、金沢ニューグランドホテル。
2014-2015 中部第1回評議会・EMCシンポジウム 7月26日(土)、名古屋YMCA。

今月の聖句について ロマで獄中であつたパウロがフィリピの教会の人たちを励ますために送った手紙の一部。第4章には「勧めの言葉」が連ねられている。「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。」(6節)

8月の当番 司会：北君、準備：竹中君

当クラブ	6月出席者	6月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 5名	メン 6名	100%	前月繰越切手 2,700g	前月累計 84,741円
広義会員 0名	メネット 名		6月分切手 45g	6月 6,000円
功労会員 1名	ビジター 名	メーキャップ 0名	今年度累計	
	ゲスト 名		切手 2,745g	
			現金 0円	
合計 6名	10名	100%		累計 90,741円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 6月第一例会 ◆

地中海クルージング体験記

—イタリアのチヴィタヴェッキア港～カナリア諸島—

平口 哲夫

例年 6 月第一例会は、次年度に向けて反省や計画について話し合う、議事中心の例会なのですが、ただそれだけではホテルを会場にして食事を共にしながらの集まりとしてはモットイイので、会員の誰かが短くてもいいから何か卓話を担当するほうがよいということになり、今回は私が 2014 年 3 月 24 日～4 月 6 日に体験した海外旅行について、多数のデジタル写真を液晶プロジェクターで映しながらお話いたしました。

ローマの外港チヴィタヴェッキアから乗船した MSC ファンタジアは、総トン数 137,936 トン、全長 333.3m、全幅 37.92m、巡航速力 22.87 ノット、デッキ 14 層、客室 1,637 室、乗客定員 4,363 名、乗組員数 1,370 名という巨船です。私がメネットと一緒に利用した客室はデッキ 9 の右舷にあるバルコニー付きツインルームで、トイレ・洗面室に浴槽はありませんが、シャワーで体を洗うことはできます。ソファやテーブルもあり、ふだん利用するビジネスホテルの個室よりも広く内装も立派です。(つづく)



(現地時間 3 月 27 日 13:00 にバルセロナに入港、モジェイクの丘から見た MSC ファンタジア)

◆ 第 17 回西日本区大会に参加して ◆

北 肇夫

6 月 14 日(土)～15 日(日)シンフォニアいわくに(区大会)および岩国国際観光ホテル(懇親会)の両会場にて、第 17 回西日本区大会が開催された。区大会には、当クラブから川村・澤瀬・平口・北の 4 ワイズが参加した(澤瀬・平口両ワイズは前泊で参加)。

従来大会は大都市で開かれることが多く、岩国のような 14 万人規模の都市での開催は珍しい。今大会の演奏はすべて生演奏で、かつ多彩であり、「おもてなしの心」の一端が伺われた。「シンフォニアいわくに」では、知的障がいや身体障がいのハンディをもった人たちが描いた「わくわくアート展」が同時開催され、地元はもとより、西日本区各地で開いた「アート展」からも寄せられた、個性あふれる作品に圧倒された。

参加者数は 800 名以上で、ホストクラブの岩国クラブ・岩国みなみクラブを中心とする実行委員会のご苦勞が実り、見事な大会となった。翌日も好天に恵まれ、



(大会懇親会にて)

時間を工面して錦帯橋、ロープウェーで岩国城天守閣から城下町の展望を楽しんだ。

◆ 2014-2015 年度の抱負 ◆

会長, Yサ・ユース委員長: 会長 3 期目になり、各事業委員も変わらず、6 名が適材適所の役務を担って今年度もスタート。前年度は今一歩のところまで会員増には繋がりませんでした。クラブの活性化を図るためにも今年度はなんとしても会員増強、この一点に主眼をおいて活動を続けたいと考えております。Yサ・ユース事業に関しては金沢 YMCA の協力のもと、まずはリーダーの育成に努力します。(澤瀬 諭)

副会長, 会計, ファント'委員長: 私みたいな者にクラブ会計を任せるとするのは 過去 2 年連続で何とかクリアして来た実績によるものかと思ったのですが、大きな誤解で、メンバー不足により仕方なく川村にさせるというのが実情のようです。毎回、決算報告の段階で会計処理上の問題が生じますが、3 年目の今年度は「決算書の監査 1 発ハンコ」を目指していきたいと思えます。(川村孝治)

書記, 直前会長, 地域奉仕・環境委員長: 前年度は、クラブチャーター 20 周年を迎えたものの、中部部会の準備やクラブ運営などで多忙のため、クラブの現状分析や将来展望などの議論があまりできなかった。今年度、大西中部部長の主題「“将来を見つめたワイズ活動!”を今やってみよう!」ならびに澤瀬会長の主題に沿った活力あるクラブ運営に尽力したい。地域奉仕・環境事業では、「新桜坂緑地のグリーンキャンペーン」を軸に取り組み、地元町内会との協働のもと親睦を深め、新たな活力源としてゆきたい。(北 肇夫)

広報・ブリティン・EMC 委員長, メール委員, 直前中部部長: 前年度に仕上げておくべきことを残したまま、新年度のキックオフを迎えてしまったので、心機一転という感じではありませんが、前年度の中部部長主題に掲げたごとく、引き続き長所を活かして生き生きと、円滑なコミュニケーションをもって奉仕活動に励み、事業の質的向上を会員増強につなげたいと思えます。また、個人的には、将来、IBC や DBC につながるような交流を深めたいという気持ちがあります。(平口哲夫)

交流委員長: 本来ならば交流委員長として IBC (International Brother Clubs、国際兄弟クラブ) や DBC (Domestic Brother Clubs、国内兄弟クラブ) について検討しなければいけないのですが、その点、クラブとして機が熟していませんし、また私には荷が重すぎるので、身近なところでワイズメンズクラブ以外の団体との交流を試みてみたいと思えます。また、無用の波風を立てることなく、お互い思いやり、愛の心をもって運営ができるように心がけます。(竹中丈晴)

功労会員: 創立 10 周年のときに記念講演をしてくれた旧友・国重正昭君(故人)は、NHK「趣味の園芸」の講師として活躍していただけたに、講演会には能登からキリシマツツジの愛好者 10 余名が来てくれた。北陸新幹線が完成すれば、東京から能登にも出掛けやすくなるので、東京の子どもたちを招いて能登のキャンプ場で金沢や能登の子どもたちと一緒に YMCA 主催キャンプをすることができればいいと思う。(三谷信三)

《 金沢 YMCA のホームページ 》

<http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>